

シリーズ菊池遺産

問い合わせ先 企画振興課
0968(25)7250

寺尾野大圓寺と墨染め桜
菊池一族が聖護寺に行く際の休憩所として使われていたと伝えられています。寺の東側斜面に墨染め桜があり、桜の脇に菊池氏第14代武士公が読んだ墨染め桜の歌碑が寄り添っています。参道には、鎌倉・室町時代から残る宝篋印塔(県指定文化財)があります。



認定番号第ふるさとH25-6号
推薦者 寺小野区

本堂、仏塔9基は菊池市指定文化財です。ご本尊は千手観音立像もあり、いずれも熊本県指定文化財です。
開基以来、大僧正・大僧都などの位の高い僧侶が京都から訪れ、天曆元年(970年)には皇室の勅願所となりました。東福寺7代秀吉大和尚のとき、菊池則隆公が郡司となり、それから、菊池氏の助力を得て菩提寺となりました。境内には菊池一族武将や高僧の墓、供養塔がたくさんあります。
毎年9月1日には東福寺歴代住職・菊池一族の人塚供養祭が行われます。3月18日にはお観音様御命日祭と釈迦涅槃像、菊池家25代の御開帳があります。



認定番号第特別H25-1号
推薦者 亘区

ケータイ・スマホと子どもの人権

人権・同和教育シリーズ(112)

「みんな、覗いてやるー」
自らの携帯電話にこう書き残して、中学一年生の少女がビルの七階から投身自殺をしました。ソーシャルネットワークサービス(SNS)という、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどで無料利用できるサイトにおいて、友達から無視され、仲間はずれなどをされた結果の悲しい出来事です。同じような事件が、熊本県でも発生、大切な命が失われました。今、子どもたちの人権問題で、深刻な悩みとなっているのが、「ネットいじめ」という、携帯電話やパソコンを通じて引き起こされている人権侵害の問題です。
「塾帰りの安全」や「仲間や友達から孤立しないように」と持つことに同意したはずの携帯電話やパソコンが、子どもを危険にさらしたり、子どもの人間関係を壊したりしてしまふ結果にもなることを、私たち周りの大人は、もっと深刻な問題として自覚する、必要があります。平成26年3月、内閣府が発表した「青少年の携帯電話・スマートフォン所有状況」によると、小学生36.6%、中学生51.9%、高校生では97.2%と

地域人権教育指導員 池田一男

問い合わせ先 人権啓発課
0968(25)7209

ケータイ・スマートフォンについて知識を深め、より良い機器利用について指導し、方向付けていかなければなりません。

そのためには、子どもたちにもケータイ・スマートフォンといった機器を持たせる場合、子どもと十分話し合い、使い方のルールをつくり、業者に依頼してフィルタリングによる有害情報の遮断を必ず行いましょう。また、子どもたちの日常について関心を深くし、どこか元気がなかったり、ふざざい込んだりなど、日頃の様子が変わりが見られたら、子どもの話をよく聞き、必要であれば、学校や地元警察署などの関係機関と連絡を取って改善を図りましょう。

子どもたちが快適で明るく、元気な毎日過ごすようにすることは、私たち大人の大切な役割であり責任です。



菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎0968(23)1155

第10回夫婦の手紙・絵手紙展
期間 ~1月30日(金)
本年度応募作品を全て展示します。他にも第2回からの作品もご覧いただけます(ファイル保管)。

常設コーナー
菊池にゆかりある人物や歴史を紹介しています。世界的に有名な具象派画家バルテュスのリトグラフ作品や菊池一族の歴史の一部のジオラマなどご覧ください。



平成27年度展示室の申し込みを受け付けています
利用料金は1日1,600円です。詳しくはお尋ねください。足湯のある美術館で作品を展示してみませんか。

開館時間 午前9時~午後5時30分
*12月29日(月)~平成27年1月3日(土)の年末年始期間中は午前10時~午後4時

ふるさと緑の便り 菊池グリーンツーリズム

問い合わせ先 きくちふるさと水源交流館
0968(25)0102

木とふれあう自然体験の紹介
生活の中で上手に木材を生かしていた生活は、すっかり昔のことになっていませんか? 自然の恵みを感じる「木のあそび」を体験してみませんか。

きくちふるさと水源交流館には、里山の間伐材を有効利用したまき割り体験や、そのまきを使って石窯でピザを焼いたり、羽釜を使ってご飯を炊いたり、蔵にあるまきストーブに火を灯す体験があります。また、昔の生活には欠かせない竹を活用して、竹とんぼ、竹箸、竹馬や竹籠など竹を使った木工体験や、大人も子どもも木登りを安全に楽しめる森のびらんど(ツリーリング)など木に関わるさまざまな体験プログラムがあります。木とふれあひ・木を使い・木を知る体験プログラムは、木のある暮らしを感じ、また私たちの環境について考えるきっかけになります。皆さんも体験してみませんか。



韓国猪見シリーズ(4) 김치찌개(チヂケ)
最近は大衆おやつ トッポキ 最近では日本でも良く知られているトッポキ。その歴史はかなり古い。朝鮮時代には始終、王家と貴族の食べ物として登場する。当時は庶民が簡単に食べることができない貴重な食べ物だった。もともと宮中で発達したトッポキは宮廷トッポキと呼ばれていた。醤油に漬けた牛肉を餅と一緒に炒め作ったので、今のようになんか辛かった。
現代、韓国で好んで食べられているコチュジャントッポキは朝鮮戦争直後に開発された食べ物だが、その誕生に関する明確な記録はない。一説によれば、1953年、マ・ポクリムという女性が中国飲食店でトッポキ餅を誤ってジャジャン麺のタレに落としたが、それを食べてみたらおいしかったのでコチュジャン味を作るようになったという。トッポキの大衆化は朝鮮戦争以後、救護物資としてアメリカから入ってきたメリケン粉と、1960年代末から本格化した粉食奨励運動に影響された可能性が高い。1970年代からは、コチュジャンで甘辛くし

たトッポキが一般的なトッポキとして位置付けられる。このようにトッポキは、米餅を小麦粉餅に、醤油味からコチュジャン味に変わりながら大衆のおやつになっていった。
トッポキは家でも作ることができる。材料はトッポキ餅、コチュジャン、唐辛子粉、水飴、醤油、キャベツ、タマネギ、長ネギ、ニンニクのみじん切り、イワシ、昆布、かまぼこなどを準備する。作り方は、①水にイワシと昆布を入れて沸かし出汁を作る。②出汁にコチュジャン、唐辛子粉、水飴、ニンニクのみじん切り、醤油を交ぜタレを作る。③かまぼこ、長ネギ、タマネギ、キャベツを切っておく。④大きな鍋に全ての材料を入れ、②のタレを注いで沸かす。⑤餅が煮えるまでよく炒める。⑥お皿に盛る。
この他にもチヂストッポキ、ジャジャントッポキなどもある。最近では韓食の世界化推進により高級化、多様化、ブランド化も進んでいる。今年の冬は家族でこの辛くて甘いコチュジャントッポキを作ってみるのはいかがだろうか。



わいふ一番館だより

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

「ある日ある時」二人展 徳永尚美・鶴長広志
期間 ~1月18日(日)
カメラ屋さんで知り合って4年、菊池応援隊5・8会の仲間による写真展です。

原式おし花菊池グループ展 菊池仁美
期間 1月20日(火)~2月1日(日)
野に咲く可憐な花たちに語りかけながら額の中で今一度の命を、と心を込めて創作しました。

まちかど資料館企画展「菊池市の六地藏菩薩展」
期間 ~3月29日(日)
県内にはおよそ400基の六地藏があるとされています。戦乱が続いた室町後期から地藏菩薩に対する信仰が高まり、救済の手を伸ばしてくれる菩薩として祭られました。その六地藏菩薩の中から、いくつかの形式、種類などを紹介していきます。

*休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)